

サステナビリティへの取組み

サステナビリティ方針

十六フィナンシャルグループでは、サステナビリティを巡る取組みについての基本的な方針として「サステナビリティ方針」を策定しています。

【サステナビリティ方針】

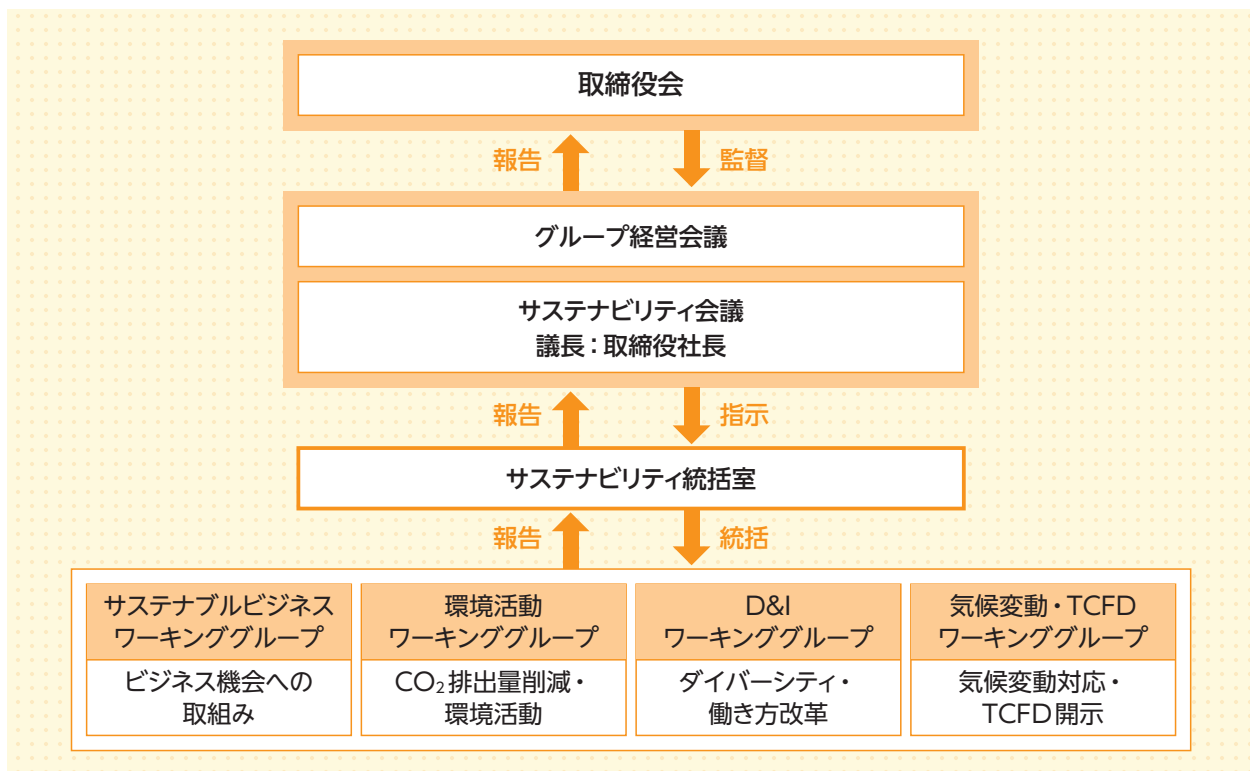
十六フィナンシャルグループは、サステナビリティへの取組みを重要な経営課題と認識しています。気候変動をはじめとするさまざまな社会課題の解決に本業である「地域総合金融サービス業」を通じて取組み、グループ経営理念である「お客さま・地域の成長と豊かさの実現」に貢献するとともに、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

(※) サステナビリティの定義：お客さま・地域の成長と豊かさを実現できる社会を創り、将来の世代に引き継ぐこと

サステナビリティ経営体制

気候変動をはじめとするサステナビリティへの取組みを重要な経営課題と認識し、適切に対応するため、取締役社長を議長とし、グループ経営会議の構成員、統括部長、サステナビリティ統括室長などにより構成される「サステナビリティ会議」を設置しています。

—サステナビリティ経営体制—



重点課題への取組施策

十六フィナンシャルグループSDGs宣言を制定し、5つの重点課題（マテリアリティ）のもと、宣言に沿った取組みを推進しています。

	重点課題	取組施策
事業 (ビジネス)	地域経済の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域経済の担い手を育成する創業・新規事業支援 ● 地域企業の成長に資する本業支援・経営承継支援 ● 豊かな暮らしを実現するための資産形成支援  
	地域社会の持続的発展	<ul style="list-style-type: none"> ● 快適で魅力あるまちづくり ● 地域資源を活用した次世代につながる価値創造 ● 地域企業や自治体のデジタル化推進    
	環境保全と気候変動対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域企業の脱炭素経営支援 ● 環境保全・環境負荷低減への取組み ● 気候変動への対応とTCFDに沿った情報開示    
経営 (マネジメント)	多様な人材の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> ● ダイバーシティを強みとする企業風土の醸成 ● ワークライフバランスを実現する働き方改革 ● 多様な人材の成長と挑戦を支える職場づくり  
	ガバナンスの高度化	<ul style="list-style-type: none"> ● コーポレートガバナンスの高度化 ● リスク管理・コンプライアンスの強化 ● ステークホルダーエンゲージメント 

サステナビリティへの取組み

サステナビリティKPI

2022年5月に設定した「サステナビリティKPI」は、グループ各社の連携した取組みからいずれの項目も順調に進捗しています。

2030年度までの目標

重点課題	項目	数値目標	2023年9月実績（進捗率）	
			実績	進捗率
地域経済の活性化	サステナブルファイナンス実行額（うち環境分野）	2兆円 (8,000億円)	(※2) 3,452億円 (1,193億円)	17.3% (14.9%)
	グループ預り資産残高	5,500億円	3,973億円	72.2%
地域社会の持続的発展	ソーシャルインパクト投資	20億円	(※2) 3.1億円	15.6%
	DX支援コンサルティング件数	3,000件	(※2) 245件	8.2%
環境保全と気候変動対策	CO ₂ 排出量（2013年度比）	(※1) 100%削減	47.3%削減	47.3%
	紙使用量（2019年度比）	50%削減	32.7%削減	65.5%
多様な人材の活躍推進	女性管理職比率	20%	7.9%	39.5%
	有給休暇取得率	80%	28.6%	35.7%

(※1) 「2030年度までにCO₂排出量を2013年度比50%削減する」目標を2023年度中に概ね達成する見込みとなったことから、「2030年度までにカーボンニュートラルを達成する」目標へと上方修正
 (※2) 2022年4月からの累計値

継続的に取り組む目標

ガバナンスの高度化	危機発生時における初動対応訓練の実施	年2回以上	4回	200.0%
	投資家との対話	年10回以上	16回	160.0%